

# 日本産業技術教育学会における論文執筆について†

## On Writing the Paper of Japan Society of Technology Education

山田 太郎\*                      森 花子\*\*                      鈴木 三四郎\*\*\*  
Taro YAMADA                      Hanako MORI                      Sanshiro SUZUKI

ここでは、日本産業技術教育学会の論文の書き方について説明しています。和文概要は、1 段組で 400 字以内に研究の背景、目的、方法、結果、キーワードを明記してください。また、和文概要は、本文の前に記載してください。研究の目的や結果が書かれていない概要がありますので、読者に分かることを意識しての記載をお願いします。また、左右マージンを変える方がおられますので、書式は変更しないようにお願いします。なお、本サンプルは、2017 年 10 月 1 日に公開されたものです。

**キーワード：**キーワードは、主題を的確に表現し、研究の内容(素材、特性、手法など)がよく推測できるような用語を、5 語程度列挙してください。

### 1. はじめに

**Abstract** を含めて 8 ページ以内で執筆してください。本文は 2 段組とし、1 段あたり 24 文字 45 行としてください。

各章のタイトルは、12 ポイント全角 MS ゴシック、半角 Arial としてください。

各節のタイトルは、10 ポイント全角 MS ゴシック、半角 Arial としてください。

本文と参考文献は、10 ポイント全角 MS 明朝、半角 Century としてください。

図のキャプションは、図の下に記載し、9 ポイント全角 MS ゴシック、半角 Arial としてください。図の横幅は、1 段または 2 段の幅を基準としてください。

図は、可能な限り MS-Word で直接編集できるように、ベクトル形式で作成してください。図に画像が含まれる場合、その解像度は 300dpi 以上とし、MS-Word のオプション設定において「ファイル内のイメージを圧縮しない」を有効にしておいてください。

表のキャプションは、表の上に記載し、9 ポイント全角 MS ゴシック、半角 Arial としてください。表図の横幅は、1 段または 2 段の幅を基準としてください。

表は、可能な限り MS-Word で直接編集できるように

に、MS-Word の表として作成してください。表内の文字サイズは、8 ポイントを基準としてください。

句点は全角「。」、読点は全角「，」としてください。括弧は、半角としてください。英数字は、半角としてください。

数式は、MS-Word の「数式」機能を使って作成してください。

参考文献番号の引用は、上付き文字としてください。

以下の文章は、サンプルです。

日本産業技術教育学会の歴史は昭和 33 年に始まり、古くから技術教育の発展に寄与しています。当初は日本産業教育学会の学会名で、日本産業教育学会誌として毎年発行しておりました。第 1 号は昭和 33 年 9 月 25 日発行に始まり、順に列挙すると、第 2 号は昭和 34 年 11 月 15 日、第 3 号は昭和 36 年 3 月 1 日、第 4 号は昭和 36 年 12 月、第 5 号は昭和 37 年 12 月、第 6 号は昭和 39 年 1 月、第 7 号は昭和 40 年 3 月、第 8 号は昭和 41 年 3 月の発行となっています。

第 9 号からは技術教育の必要性の高まりから学会名を現在の日本産業技術教育学会に変え、年 1 回の発行は同じですが、第 9 号は昭和 42 年 3 月、第 10 号は昭和 43 年 3 月、第 11 号は昭和 44 年 3 月、第 12 号は昭和 45 年 1 月、第 13 号は昭和 46 年 4 月、第 14 号は昭和 47 年 3 月、第 15 号は昭和 48 年 3 月、第 16 号は昭和 49 年 7 月、第 17 号は昭和 50 年 4 月、第 18 号は昭和 51 年 3 月の発行となっています。

第 19 巻から年 2 号の発行となり、第 19 巻第 1 号は昭和 52 年 3 月、第 19 巻第 2 号は昭和 52 年 7 月、第

(202■年■月■日受付, 202■年■月■日受理)

\* 産業教育大学 (正会員 A)

\*\* 東京都千代田区立日本中学校 (正会員 B)

\*\*\* 産業教育大学大学院 (学生会員)

† 201■年 8 月本学会第 XX 回全国大会(地名)にて発表

20号第1号は昭和53年3月、第20号第2号は昭和53年11月、第21巻第1号は昭和54年3月、第21巻第2号は昭和54年9月、第22巻第1号は昭和55年3月、第22巻第2号は昭和55年9月、第23巻第1号は昭和56年3月、第23巻第2号は昭和56年9月の発行となっています。

さらに第24巻からは年3回の発行に移り、第24巻第1号は昭和57年3月、第24巻第2号は昭和57年7月、第24巻第3号は昭和57年11月の発行となっています。

現在のスタイルの年4回の発行は第25巻から始まり、第25巻第1号は昭和58年3月、第25号第2号は昭和58年6月、第25号第3号は昭和58年9月、第25巻第4号は昭和58年12月、第26巻第1号は昭和59年3月、第26巻第2号は昭和59年6月、第26巻第3号は昭和59年9月、第26巻第4号は昭和59年12月、第27巻第1号は昭和60年3月等々と現在まで続いております。

このように、歴代の学会員が築き上げた歴史ある学会ですので、今後も技術教育に関する皆様の英知を世界に発信する情報源として発展できることを願っております。

### 1.1 ←ここに節を入力します

←ここに文章を入力します

#### 1.1.1 ←ここに項を入力します

←ここに文章を入力します

#### 1.1.2 ←ここに項を入力します

←ここに文章を入力します

#### 1.1.3 ←ここに項を入力します

←ここに文章を入力します

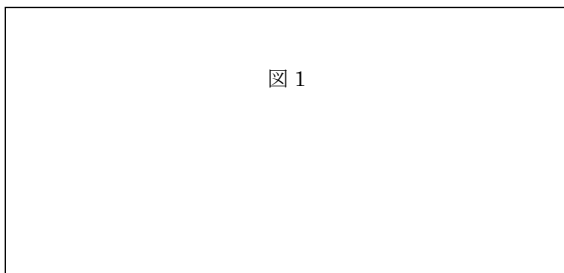


図 1

図 1 図のキャプション

表 1 表のキャプション

項目 1	項目 2	項目 3	項目 4

## 2. ←ここに章を入力します

←ここに文章を入力します

### 2.1 ←ここに節を入力します

←ここに文章を入力します

#### 2.1.1 ←ここに項を入力します

←ここに文章を入力します

#### 2.1.2 ←ここに項を入力します

←ここに文章を入力します

#### 2.1.3 ←ここに項を入力します

←ここに文章を入力します

### 2.2 ←ここに節を入力します

←ここに文章を入力します

#### 2.2.1 ←ここに項を入力します

←ここに文章を入力します

#### 2.2.2 ←ここに項を入力します

←ここに文章を入力します

### 2.3 ←ここに節を入力します

←ここに文章を入力します

#### 2.3.1 ←ここに項を入力します

←ここに文章を入力します

#### 2.3.2 ←ここに項を入力します

←ここに文章を入力します

## 参考文献

- 1) 著者名 1・著者名 2・著者名 3 : 論文表題, 日本産業技術教育学会誌, 第 49 巻, 第 3 号, pp.201-208 (2007)
- 2) 著者名 1・著者名 2・著者名 3・他 2 名 : 論文表題, 日本産業技術教育学会誌, 第 50 巻, 第 2 号, pp.101-108 (2008)
- 3) 著者名 1・著者名 2・著者名 3・他 4 名 : 論文表題, 日本産業技術教育学会誌, 第 51 巻, 第 1 号, pp.11-18 (2010)
- 4) 編・著者名 : 書名, 発行所, pp.205-211 (2007)
- 5) ←ここに参考文献を入力します
- 6) ←ここに参考文献を入力します
- 7) ←ここに参考文献を入力します
- 8) ←ここに参考文献を入力します
- 9) ←ここに参考文献を入力します
- 10) ←ここに参考文献を入力します
- 11) ←ここに参考文献を入力します
- 12) ←ここに参考文献を入力します
- 13) ←ここに参考文献を入力します
- 14) ←ここに参考文献を入力します
- 15) ←ここに参考文献を入力します
- 16) URL を記載する場合は, (最終アクセス日 : 20○  
○年○月○日)を記載してください。

## Abstract

This paper is concerned with the procedure how to write a paper of the Japan Society of Technology Education. The content contains the developing history of the society, JSTE. We wish the society will continue to dispatch the information on high level research results to the world.

Key words: Society, JSTE, Writing paper, Technology education, History